

教育学専攻

専攻基礎科目(教育学専攻)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01ED104	教育学セミナーI(歴史と政策)	1	2.0	1・2	通年	応談		藤井 穂高, 上田 孝典	教育の歴史、教育行政学の領域における、近年の研究動向に関する文献を講読し、研究視角、研究方法、分析手法の検討をおこなう。	
01ED105	教育学セミナーII(学校の内と外)	1	2.0	1・2	通年	応談		唐木 清志, 片平 克弘	この授業では、教科教育を中心とする具体的な実践に係る研究成果を学ぶことによって、知識基盤型社会が抱える学校教育の課題を展望する。また、受講者の関心領域において、関連する研究成果を調査し発表することで、研究課題を特定する。	
01ED106	教育学セミナーIII(地球と環境)	1	2.0	1・2	通年	応談		タスタンペコワ クアニシ, 佐藤 博志	現代教育改革の国際的動向と課題を比較・検討し、教育学の概念、方法、展望等について論議する。	
01ED107	教育学セミナーIV(教育と社会)	1	2.0	1・2	通年	応談		樋口 直宏, 名畑目 真吾	教育と社会の関係に関する今日的な研究動向に関し、修士課程相応の専門的事項を扱う。	

専攻共通科目(教育学専攻)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01ED201	教育学研究方法論A(文献研究)	4	2.0	1・2	通年	応談		甲斐 雄一郎, 國分 麻里, 田中 マリア	方法としての文献研究の基本的な考え方とその手続きについて学び、文献研究の意義を理解させる。そして、それを前提としながら、教育研究の各分野において、どのような文献研究が行われてきたのかを、各分野の研究的著作を講読・検討することにより、研究者として必要な文献研究の具体的手法を実地に学ばせる。	
01ED202	教育学研究方法論B(実験・観察・フィールドワーク)	2	2.0	1・2	通年	応談		清水 美憲, 蒔苗 直道, 井田 仁康, 長田 友紀, 庄司 一子	内外の文献及び映像データを活用して教育学研究方法としての実験・観察・フィールドワークの基礎について理解を深める。受講院生による演習、発表、討論等も取り入れ、教育学研究方法としての実験・観察・フィールドワークについて学ぶ。	
01ED211	教育学海外演習	2	1.0	1・2	通年	随時		藤田 晃之	国際的に活躍できる研究者としての知識や技能を養うことを目的とする。そのために、海外での自主的な活動(海外実習, 短期語学研修, インターンシップ, フィールドワーク, 海外ボランティア, 留学, 国際学会での発表等)に参加する。	

専門科目(教育学専攻)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01ED319	教育哲学特講	2	2.0	1・2	春AB秋AB	応談		平井 悠介	個性の育成と社会性の育成をはじめとした、教育を取り巻く価値の二項対立に注目しながら、現代の教育に関わるさまざまな問題と、教育のあり方とを検討していく。その際、近代教育理論・教育思想、特にリベラリズム思想に課題解決の糸口を求めていき、問題の本質を深く探究していく。	西暦偶数年度開講。
01ED320	教育哲学演習	1	2.0	1・2					教育哲学関係文献の読解を通じ、受講者の教育哲学の形成を促進する。	2020年度開講せず。
01ED321	日本教育史特講	1	2.0	1・2					日本教育史のベーシックな知見を習得しながら、歴史的視野から教育や学校の系譜について説明することができるようになるのが目標である。前近代および近代以降の日本の教育や学校について巨視的に概観し、ナショナリズム・オリエンタリズム・コロニアリズムの概念とその視点を獲得しながら整理する。具体的には、日本教育史およびナショナリズム・オリエンタリズム・コロニアリズムに関する基礎的な文献を講読し、受講者による発表と討議によって検討する。	0ATAA01と同一。 2020年度開講せず。
01ED322	日本教育史演習	2	2.0	1・2					日本教育史に関する論文・資料に習熟しながら、歴史的視野から教育や学校について思考し、展望することができるようになるのが目標である。ナショナリズム・オリエンタリズム・コロニアリズムの研究成果にも学びつつ、近現代日本の教育や学校について多角的に再検討を加え、専門的な知見を深めていく。具体的には、日本教育史およびナショナリズム・オリエンタリズム・コロニアリズムに関する専門的な文献を、受講者による発表と討議によって検討する。	0ATAA02と同一。 2020年度開講せず。
01ED325	生涯学習・社会教育学特講	4	2.0	1・2	春AB秋AB	応談		上田 孝典	生涯学習・社会教育学に関する最新の研究動向を紹介し、研究課題について検討をおこなう。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01ED326	生涯学習・社会教育学演習	4	2.0	1・2	春AB秋AB	応談		上田 孝典	生涯学習・社会教育学に関する研究成果を批判的に吟味し、研究方法論の検討をおこなう。	
01ED327	教育制度学特講	2	2.0	1・2	春AB秋AB	応談		藤井 穂高	教育制度論におけるアーティキュレーションの理論を先行研究に基づき整理する。その上で、今日の我が国の改革を取り上げ、国際的視野の下で、アーティキュレーションの在り方を検討する。	西暦偶数年度開講。
01ED328	教育制度学演習	2	2.0	1・2					今日の我が国及び諸外国の教育改革における資質・能力論の現状とその理論的根拠について学術的研究に基づき説明できることを目標とする。具体的には、今日、我が国及び諸外国の教育政策において、資質・能力(コンピテンシー)論に基づく改革が主流となりつつある。そうした中で、現状の改革動向を踏まえたうえで、その理論的根拠がいかなるものかを、関係文献の読解を中心に検討する。具体的には、奈須正裕『「資質・能力」と学びのメカニズム』、国立教育政策研究所『資質・能力[理論編]』、OECDのキー・コンピテンシー論、グリフィン他『21世紀型スキル』とファデル他『21世紀の学習者と教育の4つの次元』である。	OATAA08と同一。 2020年度開講せず。
01ED331	学校経営学特講	2	2.0	1・2	春AB秋AB	応談		濱田 博文	本授業の内容は、小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の学校経営に関する理論と現代的課題について学び、学校経営に関する研究成果と課題について討議をおこなう。まず、学校経営に関する基礎理論およびその歴史的展開過程を、代表的な文献の講読を通じて理解する。次いで、小学校・中学校・高等学校の学校経営についての政策と実践に関する様々な文献や調査報告書等を参照しながら、現代的な課題について討議する。それらを踏まえて、これまでの学校経営研究の成果を確かめ、今後求められる研究課題について考える。	
01ED332	学校経営学演習	2	2.0	1・2	春AB秋AB	木5	8B204 人間 B501	佐藤 博志	学校経営研究の展開、動向、実際について理解、考察することをテーマとし、学校経営研究の動向、実際、今後の課題について理解し、様々な視点や背景をふまえて、学校経営研究の今後の展望等について論じられるようになることを目標とする。具体的には、学校経営に関するこれまでの研究の展開、学校経営をめぐる最新の研究、諸外国で行われている研究の動向を検討する。小学校、中学校、高等学校を対象とした研究も検討する。研究者の背景や特徴も捉えつつ、文献等を分析し、学校経営研究をめぐる成果、課題、展望について議論、考察する。	2020年度開講予定。 (2019年度は開講しない) OATAA10と同一。
01ED333	比較・国際教育学特講	4	2.0	1・2	春AB秋AB	木3		タスタンベコワ クアニシ	各国の公教育政策・制度改革を、比較・国際教育学の観点から検討する。	
01ED334	比較・国際教育学演習	2	2.0	1・2					この授業では比較教育学研究における量的研究と質的研究の方法論を学び、比較教育学研究の国内外の動向を把握する。全体を通して、比較教育学研究における論文の書き方を学ぶことを目標とする。具体的には、『比較教育学研究』と“Comparative Education Review”に特集として編成されている研究論文の検討分析を行い、比較教育学研究の量的研究と質的研究の方法論を整理する。日本語と英語で書かれる論文の特徴を検討し、論文の書き方を学ぶ。	OATAA12と同一。 2020年度開講せず。
01ED369	高等教育論特講	1	2.0	1・2					授業のテーマは、大学の歴史に関する代表的なテキスト講読を通して、大学の成り立ちを理解すること、そして、現在の課題(教育改革や質保証の在り方、進学機会の拡大など)の解決方法を多国間比較の観点から議論することである。授業の到達目標は次の3つである。 (1) 主要国の大学の歴史と現在の制度の特徴を説明できる。 (2) 現在の課題を発見し、その課題が生じた理由を論じられる。 (3) 課題の解決方法を他国の制度をモデルに提示できる。	西暦奇数年度開講。 OATAA23と同一。 2020年度開講せず。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01ED419	カリキュラム論特講	1	2.0	1・2					カリキュラムに関する研究動向と今後の課題の分析、検討を通して、この分野の基本的理解を深めることを目標とする。そのため、学部段階の教職科目の内容など、教育課程や学習指導要領に関する基礎知識を確認しつつ、より広範なカリキュラム研究における今日の多様な動向を理解する。具体的には、教職科目の各種テキストや教育学関連事典類の比較検討、日本カリキュラム学会をはじめとする専門諸学会の機関誌掲載論文などの講読を行う予定である。	OATAA15と同一。 2020年度開講せず。
01ED420	カリキュラム論演習	2	2.0	1・2					新しい教科の研究開発や教科再編を軸とした演習を通じ、カリキュラム開発に関する専門的理解を深めることを目標とする。いわゆるカリキュラムのユーザーからメーカー、ひいてはマネージャーへと、認識の移行や拡大を促し、この分野の知見を深めるねらいがある。具体的には、文部科学省の研究開発学校や教育課程特例校に代表される、各種研究開発の事例を検討し、その成果と課題にもとづいた新教科の研究開発を試みる。受講者による課題への取り組みと発表が中心となる予定である。	OATAA16と同一。 2020年度開講せず。
01ED421	教育方法学特講	1	2.0	1・2	春AB 秋AB	木4	8B306 人間 B417	樋口 直宏	教育方法学に関する文献講読を通して、研究動向と課題について考察する。これらを通じて、学習指導や授業分析に関する基礎的な知見を習得できるようになることを目標とする。具体的には、学習指導スキルに関する諸理論について、文献を読み進めながら発表および討論を行う。また、学校現場における授業観察や学習補助にも携わることがのぞまれる。これらの取り組みを通じて、理論構築ならびに実践研究のデータ収集をあわせて行う。	OATAA17と同一。
01ED422	教育方法学演習	2	2.0	1・2	春AB 秋AB	火6	8B306 人間 A425	樋口 直宏	受講者各自の発表と討論を通して、教育方法学に関する理論的および実証的研究を行う。これらを通じて、教育方法学および教職に関する応用的知見を習得できるようになることを目標とする。具体的には、授業分析および指導効果要因に関する理論等、受講者各自の関心のあるテーマについて、発表および討論を行う。また、学校現場やビデオにおける授業観察を取り入れ、授業分析の実際にも携わる。これらの取り組みを通じて、学校における実践方法についても習得できることを期待したい。	OATAA18と同一。
01ED423	道徳教育学特講	4	2.0	1・2	秋AB	応談		田中 マリア	道徳教育にかかわるドイツ語の著作や論文を読解し、道徳教育のあり方について検討する。	西暦偶数年度開講。
01ED424	道徳教育学演習	2	2.0	1・2	春AB 秋AB 春C秋C	集中	人間 A526 人間 B521	田中 マリア	各自、道徳教育に関する基礎的知識を踏まえた上で、道徳教育学研究における先行研究群の中から、各自、もっとも関心をもった課題やテーマ等に焦点を当てて、読み込みや関連資料の収集等を行う。演習ではとくに、先行研究に対する批判的検討を心掛ける。受講者はこの課題に取り組むことを通じて、各々の研究構想を立てていく。授業の後半では、各々が着想した課題やテーマ等について受講者同士で発表し合い、質疑応答を繰り返しながら構想を固めていけるようにする。なお、研究構想を立てる際は、国内の道徳教育学研究だけでなく、世界的な価値教育の動向や現代的諸課題等についても触れながら、できるだけ国際的な視野に立った道徳教育学研究を目指せるよう努める。	OATAA14と同一。
01ED427	社会科教育学特講	7	2.0	1・2	春AB 秋AB	火5 集中	8B307 人間 B432	井田 仁康, 國分 麻里	社会科の基本的な概念を学ぶとともに、社会科のあるべき姿を理論的に、また各地の教育現場の現地調査を踏まえて探究する。	
01ED435	キャリア教育学特講	4	2.0	1・2	春C	応談		藤田 晃之	キャリア教育学に関連する重要論文・著作等を読み、その特質と課題、近年の研究動向について整理するとともに、研究方法について学ぶ。	
01ED436	キャリア教育学演習	2	2.0	1・2	春AB秋AB	随時		藤田 晃之	「キャリア教育学特論1」を通して培った今日的な研究課題に関する理解を前提として、学校におけるすべての教育活動を通じたキャリア教育の実践の在り方について理解することを目標とする。具体的には、2017(平成29)年版学習指導要領に基づきつつ、すべての教育活動を通じたキャリア教育の指導計画の策定及びその実践の在り方を検討する。	OATAA20と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
01ED471	特別活動学特講	1	2.0	1・2					<p>特別活動(学級・ホームルーム活動、児童会・生徒会活動、学校行事、クラブ活動)は、様々な集団活動に自主的・実践的に取り組み、互いのよさや可能性を發揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」のための資質・能力の育成を目指す取組である。本授業では、市民社会・職業社会を生き抜くために必要なこれらの資質・能力を培うために、集団のダイナミクス(協働性)、子どもの自治(自律性)、話し合いによる合意形成(民主性)を、どのように学校制度(カリキュラム)に取り入れていくべきか、多角的に考察する。</p> <p>春学期には、国内的視点から特別活動の現状・課題・可能性を検討する。第1回~第5回では歴史や理論に関する講義を行い、それをふまえて第6回~第10回では特別活動の各領域において各自テーマを設定し、その理論と実践について発表してもらう。</p> <p>秋学期には、国際的視点から特別活動の制度やカリキュラムを分析する。第11回~14回では日本型教育モデルの輸出に関する動向や、国際比較の視点・方法について講義を行い、それをふまえて第15回~第19回では、外国の教科外活動の特徴および日本との相違点について発表してもらう。</p>	隔年開講のため、2020年度は開講しません。(「特別活動学演習」を開講します) OATAA25と同一。2020年度開講せず。
01ED472	特別活動学演習	2	2.0	1・2	春AB 秋AB	月2	8B204 人間 B501	京免 徹雄	<p>社会情動的スキルの発達に有効であるとして、世界的に注目を集めている。課外活動は大部分の先進国で導入されているが、日本のようにナショナル・カリキュラムを整備して体系的に実践している国は、ごくわずかである。2016年2月には、「エジプト・日本教育パートナーシップ」が発表され、日本式教育モデルとして“TOKKATSU PLUS”が導入されている。本授業では、特別活動の内容的・方法的な独自性について、国際的な視点から検討し、その教育的意義と課題について考察する。</p> <p>授業の進め方としては、Lewis, C. (1995) Educating Hearts and Minds をテキストとして、毎回担当者を決めて、翻訳・プレゼンテーションをしてもらう。同書の出版は今から20年以上前だが、日本の教育研究で顕著な業績を残しているアメリカ人の目から見た、日本の特別活動の特徴と意義がまとめられており、その多くは現在にも通じる。著者の鋭い切り口で捉えた分析を手がかりに日本の教育を再評価し、その海外発信の可能性について考える。</p>	2020年度は開講しません。西暦偶数年度開講。OATAA26と同一。
01ED516	共生教育学特講	2	2.0	1・2	春AB秋AB	応談		庄司 一子, 徳永 智子	共生教育学に関連する最新の研究論文を読み、共生の概念、研究方法の動向などを学ぶ。	西暦偶数年度開講。
01ED520	教育社会学特講	4	2.0	1・2	春AB秋AB	応談		徳永 智子	教育社会学の基礎をなす社会理論について、その概要を学習する。さらに、個別・具体的な研究事例を取り上げてその検討を行うことで、社会現象としての教育を歴史的・社会的文脈において捉える教育社会学の視座を獲得する。	西暦偶数年度開講。
01ED521	教育社会学演習	2	2.0	1・2					国内外の教育社会学や関連領域における理論・概念を学び、さまざまな教育現象を分析する視点や方法を身に付けることを目的とし、文献を読みながら、教育社会学研究の課題設定、問いの立て方、研究方法などについて学び、最終的には各受講者が学んだ視点や方法を取り入れた研究構想を発表する。具体的には、受講者の関心に合わせて、学校教育、教育問題、マイノリティと教育、グローバル化と教育、教育政策など多様な研究領域の文献を読み、教育社会学研究の成果や課題を議論する。毎回、学生が文献に基づく報告をし、全員で討論する。	OATAA22と同一。2020年度開講せず。
01ED522	教育臨床学特講	4	2.0	1・2	春AB	随時		庄司 一子	学校教育、教育現場、児童生徒、教師、保護者、学校が抱えるさまざまな問題、そのとらえ方について概説する。さらにこれらの問題に対する理論的検討、研究動向、教育現場における対応について概観し、検討を加える。	西暦偶数年度開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01ED527	教育臨床学演習		2	2.0	1・2				学校教育および家庭や社会が抱える教育にかかわる問題、児童生徒の問題について、問題の理解、問題のメカニズムの理解、問題解決に向けた、援助の方法について学び、これを身につけることが主な目的である。具体的には問題説明と解決に向けたアプローチ（教育現場における問題の解決と援助に向けた実践）から授業を構成する。教育臨床の現場においてどのように問題を説明・理解し、問題解決にむけて仮説をたて、支援につなげいかに実践するかを学ぶ。	OATAC02と同一。 2020年度開講せず。
01ED601	初等教育学特論		4	2.0	1・2	春AB秋AB		長田 友紀	本講義では、初等教育における理念と目的、初等教育の歴史的展開、児童の発達と学習、教育と社会との関係、教育の制度的・経営的な事項に関する専門的な事項をそれぞれ検討する。	
01ED602	初等教育応用実習		7	4.0	1・2	通年		長田 友紀	つくば市内公立学校をフィールドとした実習を通して、履修者一人ひとりが自らの課題を見出すことで、初等教育の課題解決に関する知識やスキルを身に付けることをねらいとする。	